人を、想う力。街を、想う力。
三菱地所

丸の内 Reデザイン

2024 年 3 月 15 日

報道関係各位

アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会
三菱地所株式会社

～全国の美大・芸大の傑作品が丸の内に集う～

『ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024』開催

（アート アワード トーキョー マルノウチ）

開催期間：2024 年 4 月 25 日（木)～5 月 12 日（日）
開催場所：行幸地下ギャラリー

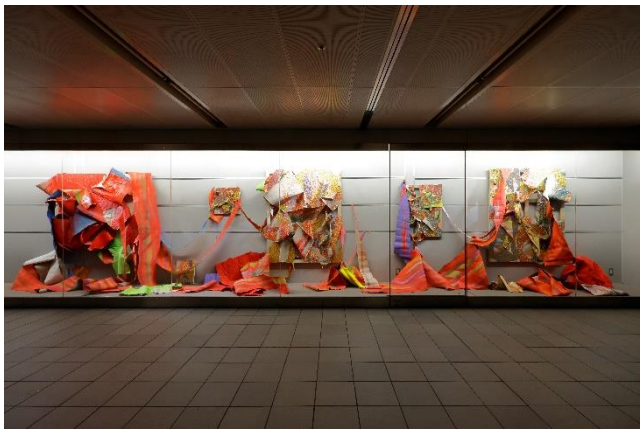
アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会と三菱地所株式会社は、4 月 25 日（木）～5 月 12 日（日）の期間、**「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024」（以下、AATM）**を開催します。

【AATM とは】
行幸地下ギャラリーを中心に、若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会です。全国の主要な美術大学・芸術大学・大学院の卒業修了制作展を訪問し、その中から発掘したノミネート作品より、さらに厳選した作品を展示。審査員による最終審査を実施し、グランプリや審査員賞などを決定します。

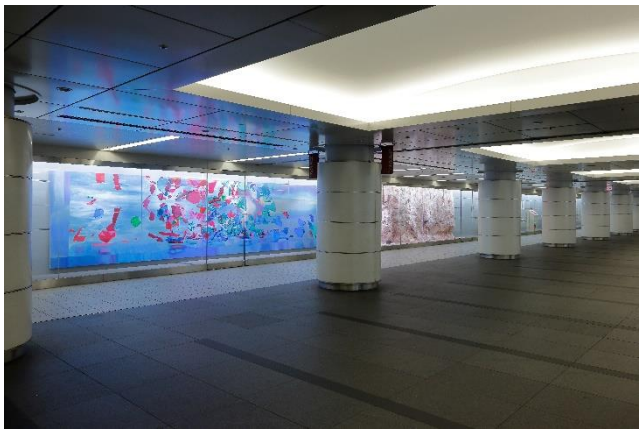
18 回目の開催を迎える AATM は、今年も**全国 18 校からノミネートされた 147 点の作品より、厳選した 20 作品の展示を実施**します。開幕日の 4 月 25 日（木）には、グランプリや三菱地所賞など、各賞の発表、表彰式を丸ビル 1F マルキューブで行います。オープンスペースでの表彰式の開催は、2020 年のコロナ禍から 5 年ぶりとなります。

また、スマートフォンアプリ「PINTOR（ピントル）」と連動し、**展示作品の解説を読むことや作品に対しての質問を投稿するとアーティストから回答をもらうことができ、より“深い”アート鑑賞を行えます。（※一部参加作家を除く）。**さらに、来場者同士で展示会の感想をシェアするなど、アプリを通して新しい楽しみ方ができるようになりました。

丸の内は今後も、文化・芸術の発信地としてアートとの出会いの場を創り出し、若いアーティスト達の可能性を広げていきます。次世代を担うアーティスト達の清々しく斬新な感性が一堂に会する丸の内で、ぜひお楽しみください。



▲アートアワードトーキョー丸の内 2023
グランプリ受賞作品
浅野克海「この世界、魂を震わすモノ」



▲会場イメージ（昨年の様子）

＜本件に関する報道関係の方のお問合せ先＞
AATM2024 広報事務局（平日 10:00～18:00）担当：妹尾・細川・山本
TEL：03-6869-7881　／E-mail：marunouchi-art@ohanapr.co.jp

■「ART AWARD TOKYO MARUNOUCHI 2024」開催概要

【概要】

若手アーティストの発掘・育成を目的とした現代美術の展覧会。行幸地下ギャラリーで作品展示を行い、審査会による選考の上受賞者を決定し、丸ビル１F マルキューブで表彰します。

＜開催日程＞2024 年 4 月 25 日（木)～5 月 12 日（日）11:00～20:00

※最終日のみ 18:00 まで。

※観覧可能時間は変更になる場合がございます。

※4 月 25 日（木）丸ビル 1F マルキューブにて表彰式を行います。（16：00～17：00）

＜展示会場＞行幸地下ギャラリー

＜入場＞無料

＜主催＞アートアワードトーキョー丸の内 2024 実行委員会

＜特別協賛＞三菱地所株式会社

＜協賛＞株式会社大和証券グループ本社／能美防災株式会社／丸の内熱供給株式会社／YKK AP 株式会社

＜後援＞三菱一号館美術館／在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ東京／OCA TOKYO／TOKYO MX

＜Web サイト＞https://www.marunouchi.com/pickup/event/2605/

【審査員】（五十音順）

今村有策氏（東京藝術大学大学院美術研究科 教授）

木村絵理子氏（弘前れんが倉庫美術館 副館長）

後藤繁雄氏（編集者、クリエイティブディレクター、京都芸術大学 教授）

小山登美夫氏（小山登美夫ギャラリー 代表、日本現代美術商協会 代表理事）

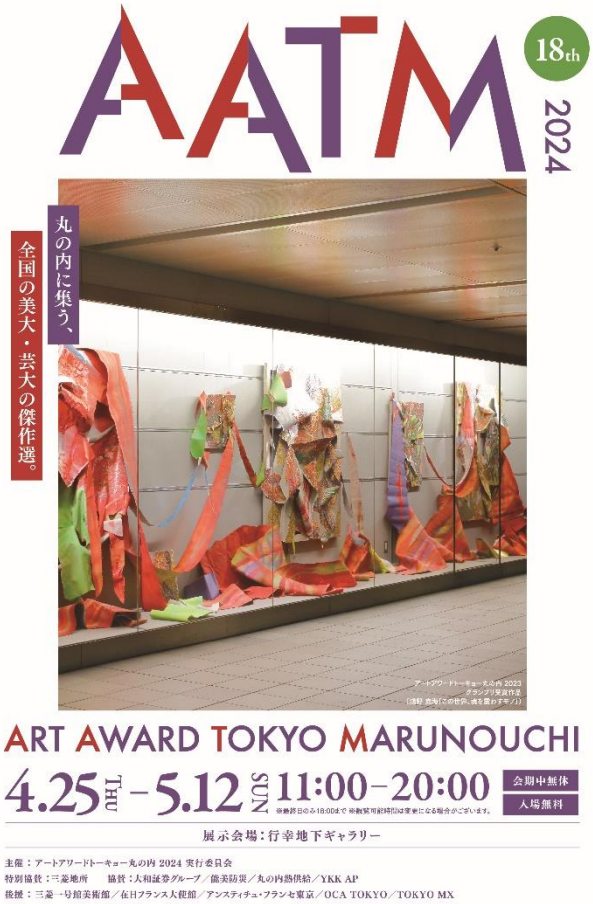
建畠哲氏（埼玉県立近代美術館 館長）

野口玲一氏（三菱一号館美術館 学芸員）

藪前知子氏（東京都現代美術館 学芸員）

●行幸地下ギャラリー

JR 東京駅地下道、直結、丸ノ内線の改札を出てすぐ。東京駅前、「丸ビル」と「新丸ビル」をつなぐ地下通路のギャラリースペースです。



■PINTOR とは

「PINTOR（ピントル）」は現在開催されているアートイベントを見つけることができるスマートフォンアプリです。また、イベントだけではなく、10 万件以上の作品、8000 人以上の画家から芸術様式や色合い、別のユーザーのコレクションなどから、自分にとって最高の作品を見つけることができます。作品の解説や画家のプロフィールなどを見て、レビューやコレクションをしてアートの記録を取って楽しむこともできます。
「AATM2024」では、二次元コードを読み取ることで簡単に作品のことを知ることができるほか、作品に対して抱いた疑問を投稿することで、アーティストから回答をもらうことができます（※一部参加作家を除く）。さらに、レビューを書くことはもちろん、他の来場者の感想も知ることができます。
公式ホームページ：https://company.pintor.jp/

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」

丸の内
Reデザイン

三菱地所は、2020 年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース： https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf